

11/29 木村

2/3

To Office of Experimental

Date 2002/11/27

Planning and Coordination

MACHINE TIME EXECUTION

REPORT (2002-3-2 CYCLE)

Experimental Group	TS23	Reporter	歳藤利行
Scheduled Period and Shift	10月22日 17:00-24日 17:00	Main, Sub, Para	

Experimenters 梶野香 歳藤利行 伴尊行

SUMMARY OF EXECUTION AND RESULTS

de/dxによる $\pi/\mu$  IDのため、厚さ60cm程度の鉛ダンプを置き、その下流にエマルションプレートと厚さ1mmの鉛板を交互にはさんで真空パックしたモジュールを設置した。 $+1\text{GeV}/c$ のビームを照射しダンプを通り抜けてきた粒子がモジュール中で効率よく停止するようにダンプの厚さの調整を入念に行った。まず2日かけてシンチレーションファイバー・ブロックを導入し、モジュールを置く位置で停止する $\pi/\mu$ の崩壊のようすを画像でとらえることで、ダンプの厚さが最適化されたことを確認した。最終日に実際のエマルション・モジュールを設置し、本番のビーム照射(400スビル、30分程度)をした。

照射後のモジュールは名古屋大学F研で現像し、予定したトラック密度でうまく照射できたことを確認した。

EXECUTED MACHINE TIME, BEAM CONDITION, DOWN TIME etc.

IT  $\pi 2$

COMMENTS